

新潟地震について

1 発生

日時：1964年（昭和39年）6月16日13：02
震央：北緯38度22分 東経139度13分 粟島沖
深さ：34km
マグニチュード：7.5
震度（当時）：新潟市5 長岡市5 佐渡市5 など

2 市の体制

同日13：30

災害対策基本法に基づき，新潟市災害対策本部設置（本部長：市長）

○組織

本部長：市長

副本部長：助役2名及び収入役

本部長等：各部長等12名

対策部：10対策部を組織

（総務部，調達部，農林部，土木部，建築部，衛生部，民生部，
教育部，水道部，消防部）

3 被害の状況

人的被害	住家被害		
	区分	被災世帯数	被災者数
死者 11人	全壊（焼）	2,338	10,829
	半壊（焼）	7,595	34,153
重傷者 16人	部分損傷	10,703	46,249
軽傷者 109人	床上浸水	10,283	44,564
	床下浸水	2,051	8,302
	合計	32,970	144,097

※昭和39年7月15日現在でとりまとめた数値

○被害の詳細

- ・ 60 歳女性が落下した梁の下敷きになり死亡
- ・ 55 歳女性が建物の下敷きになり死亡
- ・ 3 歳男児及びその親が建物の下敷きになり死亡
- ・ 25 歳女性が地割れに落ちて死亡
- ・ 6 歳男児が砂丘くずれに飲まれ死亡
- ・ 70 歳女性が避難中の交通事故により死亡
- ・ 76 歳女性が集団避難中のショックにより死亡
- ・ 48 歳女性が津波により溺死
- ・ 14 歳の聾学校生徒が避難中の人波に押し倒され、全身打撲傷により死亡
- ・ 31 歳男性がアンモニア爆発により窒息死

4 津波の状況

○新潟地方気象台正面位置における観測結果

津波	来襲時間	津波の高さ
第 1 波	1 3 時 3 5 分	5 5 c m
第 2 波	1 4 時 0 7 分	—
第 3 波	1 4 時 3 3 分	1 8 0 c m
第 4 波	1 5 時 0 0 分	6 0 c m
第 5 波	1 5 時 2 7 分	—
第 6 波	1 5 時 4 0 分	—
第 7 波	1 6 時 1 1 分	—
第 8 波	1 6 時 3 8 分	(全振幅) 1 3 0 c m
第 9 波	1 7 時 1 0 分	(全振幅) 1 3 0 c m
第 1 0 波	1 7 時 3 4 分	8 0 c m
第 1 1 波	1 8 時 0 5 分	9 6 c m
第 1 2 波	—	—
第 1 3 波	—	—
第 1 4 波	1 8 時 4 5 分	構内浸水

○阿賀野川河口付近の状況（最大波）

河口からの距離（m）	最高波高（m）
0	3.37
6	2.80
8	2.68
1,000	2.10
1,900	1.77
2,500	1.77
3,600	1.76
4,600	1.75
6,000	1.45
7,800	1.04
8,800	0.96
9,600	0.92
11,000	0.80

5 避難所の開設状況

16日から避難所を開設し、8月10日の全員帰宅をもって閉鎖した。
最大21,612人/1日が避難所へ避難した。

○避難所として開設した施設（計27施設）

東新潟	西新潟
沼垂小学校	栄小学校
万代小学校	湊小学校
木戸小学校	豊照小学校
新大農学部	明訓高校
藤見中学校	礎小学校
日赤センター	市立工業高校
健康保険新潟病院	県営陸上競技場
山の下小学校	新潟小学校
桃山小学校	入舟小学校
東新中学校	鏡淵小学校
沼垂高校	入舟地藏尊
日赤センター公務員宿舎	舟栄中学校
大山保育園	窪田町保育園
河渡大仏庵	

6 義援金の受付と配分

収入		支出			
種別	金額(円)	配分区分	種別	金額	
県からの配分	242,028,542	第1回配分	被災世帯	23,997,500	
		第2回配分	被災世帯	349,132,000	
		第3回配分	被災世帯	488,750,000	
		第4回配分	被災世帯	187,468,500	
			済生会病院	40,000,000	
			私立保育園	5,000,000	
市直接受付分	928,409,550	第5回配分	季節保育所	1,000,000	
			簡易水道復旧	3,500,000	
			桑名病院	1,000,000	
			臨港病院	1,000,000	
			山の下病院	1,000,000	
			新潟血液銀行	1,000,000	
預金利子	4,579,261	第5回配分	身体障害者福祉会館	1,000,000	
			明訓高等学校	3,000,000	
			船江住宅団地建設被災同盟	670,000	
			新潟市婦人会館	500,000	
			その他	新潟市社会福祉協議会	66,999,353

※昭和41年3月31日時点

※以上、昭和41年11月30日発行「新潟地震誌」（編集・発行：新潟市）より抜粋